

一般社団法人国際再生医療普及協会  
 特定認定再生医療等委員会議事要旨

日 時：2024年12月11日（水）15：35～15：41

開催場所：Web／新丸の内ビル 11階会議室

	摘要	氏名	出欠	利益相反	
				医療機関	委員会設置者
1	分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家	石井 伊都子	○	無	無
		鈴木 邦子	○	無	無
2	再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者	齋藤 康	○	無	無
		落谷 孝広	×		
		寺井 崇二	×		
3	臨床医（現に診療に従事している医師又は歯科医師）	中林 正雄	×		
		竹本 稔 ※委員長	○	無	無
		佐野 明彦	×		
4	細胞培養加工に関する識見を有する者	木田 泰之	○	無	無
5	医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家	中村 智広	×		
6	生命倫理に関する識見を有する者	川上 祐美	○	無	無
7	生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者	林 邦彦	×		
8	前7号に掲げる者以外の一般の立場の者	宮内 明子	×		
		中山 ちはる	○	無	無

配付資料（事務局受領年月日；2024年10月25日）

資料1 別紙様式第三 再生医療等提供状況定期報告書 2024年10月25日付

一般社団法人国際再生医療普及協会特定認定再生医療等委員会規則第6条第3項の定めにより、竹本委員長は議長となり、本委員会の開会を宣言し、本日の出席委員を報告した。ついで本委員会の審議に必要な法定の成立要件を充足している旨を述べた。

審査：定期報告

医療機関：医療法人龍志会 IGT クリニック

管理者：堀 篤史

議題：慢性疼痛緩和を目的とした自己脂肪由来間葉系幹細胞治療

結果：適

堀医師より、本件における定期報告についての説明が行われた。

当該期間に3例実施した、有害事象の発生はなかった。

3例共、経過観察中のQOLの大きな変化はなかった。

1例は、投与毎に調子が良くなったと感じ、治療に満足している。1例は、治療対象の肘痛は改善したが、新たに肩を痛めていた。1例は強い痛みが改善したが、軽い痛みが残るため治療を続けたいというコメントがあった。治療効果はありと判断した。

質疑応答において、細胞治療効果があると認められたが、患者さんのスポーツ習慣による治療部位以外の場所（肩）に急性障害を生じたことに関しては、引き続き対応を行いたいと述べた。

審議の結果、参加委員全員一致の「適」という意見であった。

以上